

Nagkaisa News



浜松カップ「フェスタサンバ2015」



10月17日(土) 爽やかな晴天のもと、浜松カップ「フェスタサンバ2015」が開催され、ナガイサも市民チーム部門に参加しました。ハロハロ教室の子どもたちや青年たち総勢20人ほどがお揃いの白いポロシャツを着て出場しました。なんといっても目玉は「バオ」と呼ばれるココナッツの殻。これを肩や腰、ひざに付けて音楽に合わせて打ち鳴らすという伝統的なダンスを取り入れました。審査の結果は「優秀賞」!!サンバの本場ブラジルの審査員からは「フィリピンチームはとてもユニークで楽しいダンスでした」とお言葉をいただきました。



パスポート 出張領事 サービス

5月16日、17日の二日間、在日フィリピン大使館と共催で「パスポート出張領事サービス」と「相談業務」を 行いました(クリエート浜松4階 HICEにて)。両日あわせて、パスポート更新には352名、相談には100 名のフィリピン人が近隣の市町から訪れました。また、この事業を支えるためにボランティアとして協力し てくれたフィリピン人もいました。ありがとうございました。

Bayanihan Nihongo Class

「日本の学校について」6月21日(日)

学校で使う言葉を学びました。始業式(しぎょうしき)/修了式(しゅうりょうしき)/入学式(にゅうがくしき)/義務教育(ぎむきょういく)/集団登校(しゅうだんとうこう)/授業参観(じゅぎょうさんかん)/緊急連絡先(きんきゅうれんらくさき)/修学旅行(しゅうがくりょこう)/校長先生(こうちょうせんせい)/教頭先生(きょうとうせんせい)/給食(きゅうしょく)/教科書(きょうかしょ)・

学校で使う言葉には「拗音」「ウ列の長音」が非常に多いです。学習者にとって発音が難しいと ころですが、アクティビティを通して覚えました







「自転車に関する道路交通法改正」7月19日(日)

6月1日~自転車で交通違反をした場合の罰則が今まで以上に厳しくなりましたが、その理由をご存知ですか。東北大震災以降、車よりもエコな自転車が見直され、自転車に乗る方が全国的に増えたそうです。いっぽう、増えるとともに悪質な自転車の乗り方をする人も増えてしまったとのことでした。これが、自転車の交通ルールを見直し、罰則が厳しくなった経緯です。サっかく見直されたのですから、安全に乗りたいと思います。

「給与明細、年末調整、確定申告について」11月15日(日)

税金は私たちの暮らしを支えていて、とても大切なものです。例えば、車や人が安全に往来できるよう道路を舗装する必要があります。 この工事は税金でまかないます。

それから生活から出たゴミ回収も税金によるものです。さらに、 消防や警察といった、人々の健康と安全も税金が支えています。 納税して助け合うことが、暮らしを支えています。もし税金がなければ、私たちの社会は不安定で、安心して暮らせなくなるかもしれません。フィリピンとは違う税金の仕組についても学びました。





社会保障とマイナンバーについて 10月11日(日)

マイナンバー制度の開始に先立ち、通知カードが先に届きます。私たちのクラスに通う学習者たちは、平日仕事で家にいないことも多いです。また、引越し回数も比較的多いほうです。まずは通知カードを確実に受け取ることができるかどうか心配があります。国はこの制度についてたくさんの情報と注意点に関する資料に翻訳を入れて出しています。けれども在住外国人を取り巻く環境を思い浮かべると、その資料を目にすることが難しいことが予想されます。目の前にいる学習者に即して、本当に大切な情

報と注意点を抽出し、 情報提供しました。 制度については今後 も当会HPで段階を 追って情報公開して いきます。



バヤニハン入管 9月20日

「入管制度とビザについて」9月20日 行政書士村松正利氏より、日本で安定した 生活を送るために必要な諸手続き、留意す べき点などについて話していただきました。



ハロハロ教室

ハロハロ日本語クラスは土曜日の13:30~15:30に南部協働センターで行っています。 (小学校~中学の年齢)来日したばかりのまだ日本の学校に慣れていない子ども達のクラスです。フィリピンから来て日本の学校に入学する子どもは今後も増えると思います。この教室ではフィリピン人のバイリンガル講師が文字や日本の学校で使う挨拶や言葉を教えています。そして日本人のボランティアさんが学校の宿題を



ハロハロ「親子で遠足」 8月1日

ハロハロ日本語クラスは8月1日土曜日に親子で遠足をし浜松城公園へ行きました。沢山の保護者が参加しました。ボランティアの日本人先生も来てくれました。お弁当にはフィリピン料理もあり、アドボ、メヌド、フィリピン野菜炒め(PINAKBET)などを食べ、日本料理ではおにぎり、とんかつ、卵焼きなどを食べました。初めて食べた料理でもみなさん美味しかったそうです。お昼を食べた後は子ども達は公園で遊びました。保護者とボランティア先生は話す時間ができて文化と生活の情報交換ができました。とても楽しい交流ができました。



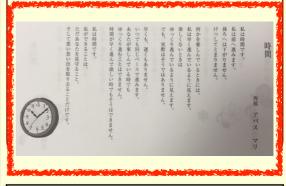




ハロハロ教室で勉強しているアバス・マリさん(中学2年生)の詩「時間」が、「文集はままつ第58号」に掲載さ

れました。来日してまだ2年ばかりのアバスさん。日本語で自分の深い気持ちを表現するのは大変だったと思いますが、ハロハロ教室でいつも勉強をサポートしてくださる日本人ボランティアの青木さんに相談しながらこの詩を作ったそうです。この経験はアバスさんにとって大きな自信になったことと思います。慣れない日本語や学校生活に苦労している他の子どもたちにとっても大変誇らしいニュースでした。





講座・イベントの申し込みはこちらまで

電話orメールでご連絡ください。

電 話:090-9175-8380

メール: filipinonagkaisa@yahoo.co.jp

SEINEN CLASS



8月30日、青年進路相談会を行いました。この日は、4月に来日 したばかりの中学3年生が、両親とともに参加しました。日本の高 校についての基本的な情報(入試の方法、学費など)や、定時制高校 について、これからの受験準備などについて話をしました。また、同 じように中学3年生で来日し定時制高校に進学卒業した先輩とも話! をしました。まだまだ日本語や日本の生活に慣れるのが精一杯です が、頑張る目標が出来て少し安心した様子でした。

ナガイサにはこの日以外にも、10代後半で来日した青年や保護者か らの問い合わせが毎年数件あります。この層は年々微増傾向にありま す。進学なのか就職なのか、日本でどんな人生を送りたいのか、ガラッ と状況が変わってしまった中で将来を見据えることは簡単なことでは ありません。彼らの将来を地域全体で支えていくべきだとナガイサは 考えています。

フィリピノナガイサースタッフ

理事長 : ☆中村 グレイス

副理事長: ☆松本 義一 ☆高井 マリ

スタッフ: ☆小粥 エリザベス

☆白方 ジョイ

☆杉山 ダーリン

☆鈴木 エバ

☆田中 寛美

☆長井 健太

☆半場 和美

☆平原 エテル

☆溝部 エース

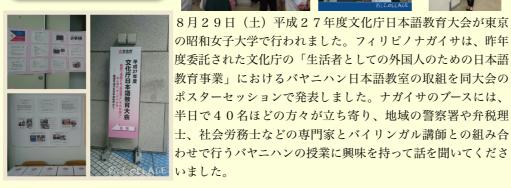
☆山浦 優子

☆吉田 佐織

税理士法人黎明 祖父江会計事務所

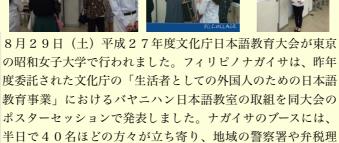
☆湊 健一郎

編集後記









FM Haro 76.1 6:10pm~

この番組は週ごとにいろいろな 国が担当しています。毎月第1 日曜日はフィリピノナガイサに よるオンエア。フィリピンの文 化や歌を日本語とタガログ語で 紹介しています。



☆フィリピノナガイサ会員のご案内☆

会員特典

- ① オリジナルネームカードをプレゼント!
- ② フィリピノナガイサが主催するイベントが無料、 または割引になります。
- ③ フィリピノナガイサの活動中、もしくは往復の途中で 事故にあった場合、保険が受けられます。

<年会費>

大 人: 4,000円 賛助会員 賛助会員 子ども: 1,000円 一口:10,000円 賛助会員団体

<お問い合わせ>

Tel:080-4308-8380 (中村 タガログ語)

090-9175-8380 (山浦 日本語)

Mail : filipinonagkaisa@yahoo.co.jp ウェブサイト: http://filipinonagkaisa.org/